

第368回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和3年12月23日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会におきましては、11月29日の開会以来、25日間にわたり、条例改正等や各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議をいただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

令和元年12月に、世界で初めて新型コロナウイルスが確認されてから丸2年が経過しました。

この間、医療の最前線で日夜対応しておられる関係者の皆さまに感謝と敬意を表する次第です。

三木市におきましても、本年2月にワクチン接種対策室を設置し、市民の皆さまへのワクチン接種に総力を挙げ、全力で取り

組んでまいりました。

皆さまのご理解とご協力を得る中で、ワクチンを2回接種した市民は6万人を超え、接種対象者の実に85%以上が接種済みという状況を築くことができた結果、三木市におきましては、直近1か月の新規感染者の発生は1名のみという状況となっております。

しかしながら、世界に目を向けますと、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」が、南アフリカで初確認されて以来、欧米諸国などで猛威を振るうとともに、日本国内にも伝播してきています。

「オミクロン株」の全体像は未だ明らかになっていませんが、当面はこれまでと同様、基本的な感染防止策を徹底するとともに、次第に低下してくる抗体の量を増幅させるため、3回目のワクチン接種の実施が、今後の重要なコロナ対策となってまいります。

3回目のワクチン接種につきましては、これまで、2回目との間隔を原則「8か月以上」とされてきたところですが、厚生労働省は、17日に、医療従事者や入院患者・施設入所者等については「6か月」に、それ以外の高齢者については「7か月」に短縮するという例外的な取扱方針を示してまいりました。

これを受け、国の前倒し方針に影響を受ける皆さまへの接種につきまして、市では、医師会や病院、施設等と再調整するとともに、高齢者への接種券の発送を、計画から1か月前倒して発送するなど、適切に対応してまいりたいと考えているところです。

また、国から供給されるワクチン配分につきましては、市全体でファイザー社製が55%、モデルナ社製が45%となる予定です。

貴重なワクチンを有効活用し、安全安心な接種体制を構築するため、市が行う集団接種についてはモデルナ社製ワクチンを、医療機関での個別接種についてはファイザー社製ワクチンを使用することといたしております。

市民の皆さまが、迅速に安心して3回目のワクチン接種を受けていただき、その結果、国民全体の感染拡大防止が図れますよう、政府の動向を注視し、今後も丁寧できめ細かな情報の発信に努めてまいります。

また、新型コロナの影響を踏まえた国の経済対策に係る補正予算が20日に成立しました。

これに伴う2つの給付金事業について、本日、追加提案をし、ご承認をいただくことができました。

今定例会の初日にご承認をいただき準備してまいりました「子育て世帯への未来応援給付金」5万円に追加する形で、政府の方針が明らかになった直後に現金10万円を一括で支給することを素早く決断をした結果、決定することができました。

議会の適切なお判断をいただき、児童手当の支給対象で振込口座を確認できている中学生以下の子どもがいる世帯には、年内の今月27日に支給できることになりました。また、新たに申請が必要な高校生のみの子どもがいる世帯や公務員の世帯に対しましては、1月に申請書を発送し、申請書が返送され次第、速やかに支給を開始してまいります。

本日も承認をいただいたもうひとつの給付金「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」10万円につきましても、年内に対象者へ個別案内を発送するとともに、来月下旬から順次支給を開始してまいります。

16日に、兵庫県から今後の行財政運営方針として、59事業の廃止・見直し案が公表されました。本市としましては、この方針により影響のある事業を精査し、市民サービスにただちに影響があるものについては、継続の要望や激変緩和の申し入れを行うなど、これからも兵庫県と連携を密にし、しっかりと市政運

営を行ってまいります。

最後になりましたが、市内での明るい話題をひとつご紹介させていただきます。

市が進めております「旧市街地の地域資源を活かしたまちづくり」の取組の一環として、現在、26日までの期間限定で、湯の山街道の夜間ライトアップを実施しております。

25日の午後5時から、酒蔵で日本酒や山田錦を語りながら酒を楽しむ一夜限りの「酒蔵バー」がオープンします。

この機会にぜひ、多くの方々に市内での歴史情緒溢れる特別イベントをお楽しみいただければ幸いに存じます。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなってまいりました。

議員の皆さま、市民の皆さまには、どうか健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。